

東海地方の春一番に関するお知らせ

令和2年2月17日
岐阜地方気象台

名古屋地方気象台は、「昨日（16日）、東海地方で『春一番』が吹きました。」と発表しました。

日本海には発達した低気圧があり、北へ進んでいます。このため東海地方では沿岸部を中心に南寄りの風が強まり、昨日は気温も平年の最高気温を上回りました。

このため、昨日（2月16日）を東海地方の春一番とします。

なお、昨年（平成31年）は東海地方で春一番は吹いていません。それ以前は平成30年2月28日でした。

昨日（16日）24時までの各地の最大風速と最高気温は次のとおりです。

	風向	風速(m/s)	観測時間	最高気温()	観測時間
名古屋	北	3.2	05時53分	10.6	24時00分
岐阜	西北西	2.6	18時48分	10.4	24時00分
津	西	8.7	23時16分	15.2	21時25分
静岡	南西	8.0	20時56分	19.9	21時06分

「春一番」は立春から春分の間吹く暖かい南よりの風のうち最初のもので、発達中の低気圧が日本海を通過するときに起こります。東海地方では、東海地方の地方気象台（名古屋・岐阜・津・静岡）のうちいずれかで、日最高気温が平年値を上回り、最大風速8 m/s以上の南寄りの風が吹き、気圧配置等の気象条件を考慮して「春一番のお知らせ」を発表しています。なお、「春一番」については、気象学的な根拠・意味が明確でないことから平年値などの統計は行っていません。